



ひよこぐみだより

第8号

平成27年11月10日(火)

秋も深まり、朝夕の冷たい風に「寒い」と感じる事が多くなりました。お外が大好きなひよこぐみさんは黄色い帽子を出すと手を差し出し「ちょーだい！」と外に出たいことをアピールしています。自分の靴を嬉しそうに履き、園庭の草花に触れたりして外遊びを満喫して楽しんでいます。

これから冬に向かい寒くなっていくので、身体を十分に動かし元気に過ごすことを今月の目標にし、健康に過ごしていきたいと思います。好きな外遊びを十分満喫できるように暖かい日を楽しみにしています。



おててとおてて♪

朝、保育士が「手をつなご〜、、、♪」と歌をうたうと自然と子どもたちが手をつなぎなんとなく小さな輪ができるようになりました。自分から友だちの顔を覗き込むようにし、“おててつなごう”と目で会話を交わしながら、手をつないでいる友だちと顔を見合わせて笑いあっています。友だちとのやりとりや関わりの豊かさが芽生える時期を大切にしていきます。



天気の良い日にはベランダで食事をしました。気持ちいい秋風の中で食べる食事に、子どもたちもいつもよりはりきってスプーンやフォークを使い、うんとおいしそうに食べていましたよ。



おしらせ

11月27日(金)に内科検診があります。おやすみしないようにお願いします。

ひよこぐみ担任 中村(亜)、福岡、山田



平成27年11月10日(火)

笑顔倍増!!

保育士と2人きりの遠足(すいせんの日)に行っています。近くの大きなどんぐりの木がある駐車場までどんぐりを拾いに行ったり、なかよし公園に行き長いすべり台をすべったりと一人ひとり好きな場所へ行きます。途中では「車、大きいね」や「ここにもお月さまあったよ」など色々なものに興味津々です。行く前は少し不安そうな子どもも生き活きとした表情で保育室に戻ってきます。友だちや保育士に「見て見て～」と拾ったものを見せたり、「あのね～」と話しかけ遠足でいっぱいにくらませた思いを知らせようとあふれていました。

自分で履けたよ

園庭に出るときに靴箱から靴を取り出すと自分で履こうとしています。まだ左右反対だったり上手く履けずに悪戦苦闘したいしていますが、時間がかかっても自分で履けたときは得意げな表情で「履けたよ!!」と見せてくれます。こんな子どもたちの「自分でする」という気持ちを大切にしていきたいと思っています。

たのしいね

小麦粉粘土で遊びました。初めて経験する子どもが多く保育士が粘土の塊を引き伸ばすと、キラキラした目で見つめる子どもたち。粘土を渡すとギューと両手で引っ張ったり、小さくちぎったりと思い思い粘土遊びを楽しんでいました。また遊んだことのある子どもは手のひらで細長く伸ばし「ヘビ」を作ったり、丸めて「お団子」を作ったりしていました。

**「季節の変化のなかで戸外や散歩を楽しみ、健康に過ごす。」**

天気の良い日は園庭で遊んでいます。園庭に出るとどんぐりや落ち葉を拾い秋の自然に触れています。拾った秋の自然物を使って制作をしたり、ままごと遊びを楽しみます。また一日の気温の寒暖差が激しくなりました。気温に応じて衣服を調節したいと思います。お家からの衣服の準備があると助かります。

担任 草場、唐木、今丸



秋の自然を感じながら、お友だちと遠足に行ってきました。

10月は気候がよく、お散歩日和でした。今年は、4つのグループに分かれて茶屋町公園やなかよし公園へ遠足に行ってきました。その日遠足に行く子どもたちに目印のバッジをつけると「遠足行くんよねえ。」と楽しみにしている様子でした。公園に行くまでお友だちと手をつないで歩きながら「飛行機おったよ。」「葉っぱがあるよ。」と話している子どもたち。すべり台やジャングルジムをしたり、おやつを食べたり、楽しい時間だったようです。「また行きたいね。」と話していました。今は遠足から帰ってきて、一緒に遊んだり、友だちを意識したりすることが増えたように思います。以前よりお友だちの存在が大きくなっていると感じました。

☆クラスに遠足の様子を貼っていますので、ぜひごらんください。



ありがとう

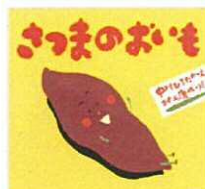
クラスだよりの第6号でご紹介させていただいた、お人形の“よしこちゃん”と“としおくん”ですが、一日ずつお世話をする係りを決めて遊んできました。今は、子どもたちが登園してから帰るまで一緒に遊ぶことができるようにしています。“初めは取り合いになるだろうなあ”“でもそこからお友だちも（遊びたいという）気持ちに気付くことができるようになったらいいなあ”と思っていました。子どもたちを見ていると、保育士に「よしこちゃんと遊びたい。」「〇〇ちゃんが貸してくれん。」と、伝えに来たり、友だちに「貸して。」と言い、言われた子どもは「あとでね。」と言ったり、子どもたち同士でやりとりしている様子がありました。貸してもらったときには、お互い見つめあって“にこ〜”と笑い、うれしさを表現したり、「ありがとう。」と言葉で伝えたりすることも増えてきました。なかなか貸してもらえずに泣いていることもあります。見守っていこうと思っています。

☆がんばれ〜

先日、以上児クラスはマラソン大会がありました。ちゅうりっぷ組は園庭で、応援をしました。スタートしたときは、小さな声で応援していた子どもたち。しかし、コースを走って戻ってきたお兄ちゃん、お姉ちゃんたちを見て、「がんばれ〜！！」と大きな声で応援したり、拍手したりしていました。「来年はみんなも走るんだよ。」と伝えると、「泣かんで走れるよ。」と言っていました。

☆絵本の紹介「 さつまのおいも 」

さつまいもが土の中で歯磨きをしたり、お風呂に入ったり、どんな風に過ごしているのかがユニークに描かれています。この絵本を読むと子どもたちは絵本の内容を覚えていて、保育士が読む前に「うんしょ ところしょ」や「わたしたちの勝ちでごわす〜」などと、セリフを言っています。保育園の畑のさつまいもを見ながら「この（土の）中にさつまいものおいもさんがおるん？」「歯みがきしよんかねえ？」と、子どもたちが話しているのを聞き、子どもたちには土の中のさつまいもが見えたようです。絵本の面白さをこれからも伝えていけたらと思います。



担任：藤田、崎野、有蘭、萩尾

☆第8号☆



平成27年11月10日(火)

園庭の木々も葉を落とし、秋が深まり朝晩は肌寒い日も多くなってきました。しかし、皿倉登山やマラソン大会を終え、心も体も強くなった子どもたちは、そんな寒さに負けず、「早く外で遊ぼう！」と元気いっぱいにあそんでいます。行事を通して大きく成長した子どもたちですが、まだ自分の思いを言葉にして上手く伝えられずトラブルになってしまうこともあります。今月は自分の気持ちを自分なりの言葉で表現し、また相手の気持ちにも気付くことができるような思いやりの心の成長を目標に子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。



みんなで頑張ったよ！

10月16日、爽やかな秋晴れの中、皿倉山に登りました。登り始めると「まだ着かんの？」「もうたんぼぼさんとひまわりさんお弁当食べてるかな？」と少し不安げな様子でしたが、みんなでうたをうたったり励ましあったりし「こんなに高いところまで登ったの？」「すごいね！」とそれぞれが達成感を味わいながら登りきることができました。保育園に戻ってくるとみんなで抱き合い、登りきった喜びを確かめ合っていました。そんな子どもたちの成長した姿を見て、とても胸が熱くなりました。子ども同士で励まし合ったり助け合ったりする優しい心と、自分の力で最後までやり遂げる強い心の育ちが見られ、保育士にとっても大切な経験となりました。

小さな約束

玩具の取り合いでけんかになっていた時のことです。以前は「先生〇〇ちゃんが貸してくれない」「〇〇くんがおもちゃとった」と保育士のところへ自分の思いを伝えにきていましたが、最近では子どもたち同士で「〇〇ちゃんも使いたって」「じゃあ時計の長い針が6になったら貸しあげたら？」「今使ってるから使い終わったら貸すね」と約束事を決めたりして話しています。少しずつ相手の気持ちに気付いたり、どうしたらよいのか考えたりすることも増えてきました。子どもたちのどんな小さな成長も見逃さず、認める温かい心で受け止め、成長につなげていきたいと思います。



平成 27 年 11 月 10 日 (火)

11月のひまわりのクラスは ～発表会にむけて～

友だちといっしょに、ごっこ遊び、見立て遊びなどを実際に十分活動することで友だちとのかかわりが深まっています。同じクラスの友だちはもとより、異年齢の友だちをいたわりながら自分の思いを相手にわかってもらう努力をしながら、共に遊びをつくっていく共同の楽しさ、共感することを大切にしています。



* 想像と創造のなかで *

折り紙の本に興味にある恐竜や虫、花などを選び自分で折っていますが、途中でわからなくなると友だちに「ここどうしたらいい?」と聞き「ここはこうよね?」と言って一緒に考えて完成させています。そして更に、空き箱や広告紙を利用して創造し空想してより豊かな表現力へと向かっています。

* 異年齢の友だちと遊ぶ楽しさ * ～真似してやってみたい～

タンポポ組が園庭で大縄跳びをしていました。それを見ていた子どもたちが「先生、私たちも大縄してみたい」と言ってきました。早速子どもたちと実行に移したのですが、跳ぶタイミングが始めはうまくつかめずに何度も失敗します。跳ぶタイミングを伝えながら練習を繰り返すうちに今では、3～4人の子どもたちが跳べるようになりました。「真似してやってみたい」という育ちへの憧れが子どもたちの思いを掻き立てているようです。



* 自然物を使って遊べるように *



散歩へ出かけると落ち葉や木の実、ドングリなど身近な自然にふれながら遊んでいます。落ち葉の色の違いの変化に対する小さな発見や驚きに共感しながら、子どもたちは並べたり分類したりして、色や数、大きさ、形の違いなどにも気づき生活面にも広げていくことと思います。

また、立体的に段ボールや空き箱、毛糸などを準備して、意欲的に創造していけるような雰囲気を作成していきます。

～これからの行事参加～

- 13日(金)七五三参拜に天疫神社にたんぽぽ組と一緒にいきます。
- 20日(金)秋の遠足で交通公園に歩いていきます。お弁当の用意をお願いします!
- 27日(金)内科検診(園の嘱託医の松井医院さんが来園され検診をしていただきます)
- 30日(月)消防総合訓練(消防士の方が来園しての避難訓練です。車両見学もします)



ひまわり組担任 河内・井上



H27. 11. 10 (火) 発行

「頑張れ！もう少しだよ！」

子ども達が地域の方にどんぐりがたくさん落ちている場所を教えてもらって、金毘羅池の付近までクラスのみんなと出かけました。

そこにはどんぐりの他に木の実や落ち葉、まつぼっくりなど子ども達の宝の山でした。目を輝かせた子ども達は移動をしながら坂道を上りました。その中で足に障害のある唯那ちゃんは一生懸命挑戦するのですが、何度も転びました。その一生懸命な姿に気づき応援しようと雄我くんと梨乃ちゃん2人は手をさしのべて「あと少しだよ！」と励ましながら一緒に坂道を登りきりました。唯那ちゃんは感謝の気持ちを込めて「手伝ってくれてありがとう。助かったよ。」と言いました。雄我くんと梨乃ちゃんは微笑しながら「みんながたくさんどんぐりを拾おうね！」と言って唯那ちゃんが坂道を何回も転んでも頑張った事を一緒に喜びあいました。

クラスの担任の私たちはそれぞれの子ども達がみんなの事を考えられる成長した姿に感動して胸を熱くしてしまいました。この子達のこの心が未来に続くことを祈りながら保育士である事に至福と喜びを語りあいました。



お知らせ

11月14日(土)総合体育館で行われる『車椅子バスケット』の観戦に槻田学童クラブの子ども達と一緒にいきます。

「バスケット知ってる！でも車椅子でするんだよね。どんな風にするのかな？」と、興味津々で、楽しみにしている子どもたちです。

観戦後、天気が良ければ中央公園でお弁当にしようと考えています。